



PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート (10月)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年9月11日(日) 10:00-11:30

会場：オンライン (Zoom)

参加者：5名 (ディベーター4名、ジャッジ1名)

はじめに PDA 代表理事中川智皓より、本日のキーノートスピーカーである早川有紀氏 (関西学院大学法学部 准教授) の紹介がありました。

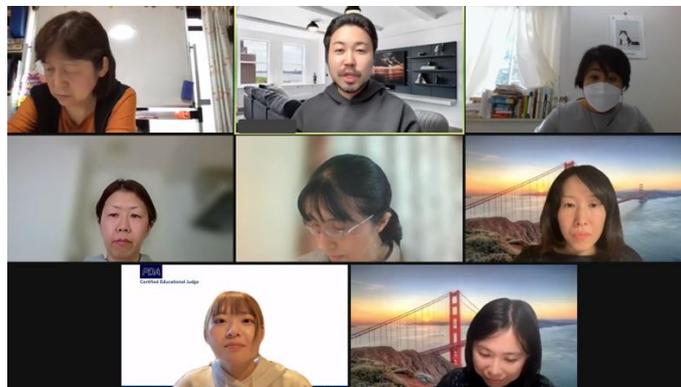
キーノートスピーカー紹介後は、参加者がお互いに自己紹介をしたのち、チーム分けと論題が発表されました。



キーノートスピーカー紹介

ディベートの様子

キーノートディベートの論題は、**Japan should promote the use of nuclear power plants.** (日本は原子力発電所の利用を促進すべきである。) でした。肯定側は、化石燃料に依存してしまうと安定かつ安い電力を供給することが難しいという点や、地球温暖化が植物や動物に悪影響を及ぼすという点について説明しました。対する否定側は、事故が起きるリスクは自然災害やサイバー攻撃、ヒューマンエラーなどを考慮するとゼロとは言えず、事故が起きた際の影響も深刻だという点、そして自然エネルギーの開発の妨げになるという点について説明しました。最終的に、原子力発電以外に自然に優しい発電方法があるのかどうか、そして事故のリスクはどれほど大きいのか争点となり、両チームとも日本の固有性について分析を深めながら工夫された描写を披露しました。



ディベートの様子

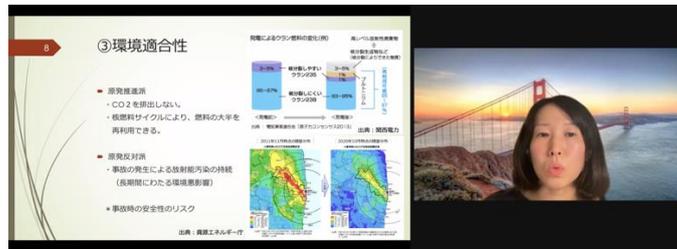


ディベート後のエアー握手の様子

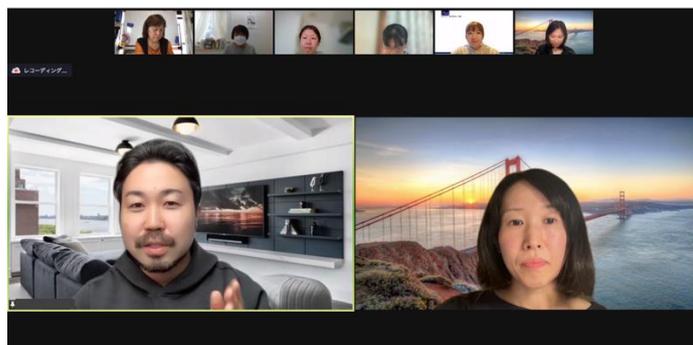
キーノートスピーチでは、早川有紀先生より、公共政策を考えるにあたって重要となるリスクの評価方法や、本日のキーノートディベートのテーマでもあった原子力発電についてもご説明いただきました。

質疑応答では「政策を決める際にはリスクとその影響の大きさをどう比較、検討するのか」「ディベートで議論されていたように、自然エネルギーで電力を賄うことが可能なのか」といった質問に対しても詳しくご説明いただきました。

また最後に、「討論型世論調査」を例にあげ、議論をすることが「なんとなくそう思っていた」ということへの気づきや「根拠のない思いこみ」について理解する機会となっていることがある点についても説明していただき、ディベートの効果を再認識するレクチャーとなりました。



キーノートレクチャーの様子



質疑応答の様子

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・論題が身近で色々考えさせられました。レクチャーもとてもためになりました。有難うございました。
- ・ディベーターとして参加し、原発の推進について真剣に向かい合った後のレクチャーは大変有意義なものでした。エネルギー政策の3Eと技術革新について大変勉強になりました。今後、授業などで同論題を扱う際にも、参考にさせていただきます。貴重な機会をどうも有難うございました。
- ・夏の合宿*の際にやった **motion** をまたすることができて、よい復習の機会となりました。でも、それでもやはり上手く表現できないところやカバーしきれない部分があり、何回もやらないと上達はしないんだろうな、と感じました。また、キーノートレクチャーでは、**motion** に関する背景知識を増やすことができ、非常に有意義だったと感じています。ありがとうございました。
- ・とても難しかったのですが勉強になりました。
- ・ディベート、レクチャーも今回も、ものすごい参考になりました！

*PDA 全国中学校・高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2022